

団体名 東久留米の井戸水位を調べる会

【活動エリア】 東久留米市内

【活動日】 井戸水位測定日；毎月月央（11～20日のうちの1日）

【代表名】 駒田智久、090-3048-4719

【問い合わせ先】 高橋英子(副代表)、eiko-cosmos@aroma.ocn.ne.jp、090-1733-3867

【主な活動内容・紹介】

－私たちは東久留米の地下水の見守り人です－

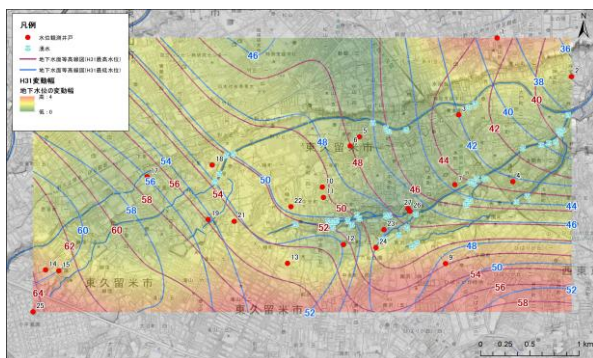
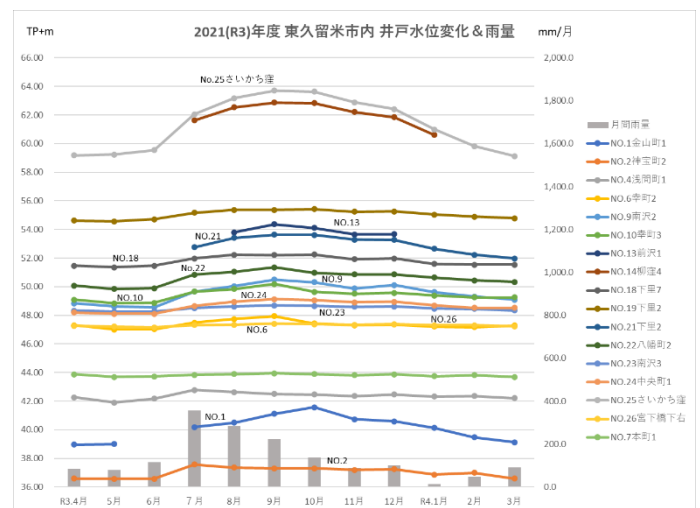
〇活動の目的と内容

- ・東久留米の豊かな水環境〔湧水と清流〕を守る事が活動の目的です。市内の清流は、主として市内の、湧水等の地下水の湧出を集めたものです。湧出水は豊富な地下水から供給され、地下水の豊かさは地下水位の高さに表れます。地下水のモニタリングとして井戸水位の継続的な測定があります。
- ・私たちは月に一度、市内 24 カ所(主として農家さんの井戸)の井戸水位を、4グループに分かれて測定しています。測定は先端にセンサーが付いた巻き尺式の水位計(ミリオン水位計)を井戸の中に投入して行います(写真)。
- ・併せて、市民の方々に向けて、水環境に係るテーマでセミナー等を実施しています。



〇活動の成果

- ・右の図は 2021 年度の降雨と地下水位の変動を示したものです。年間雨量は所沢で 1527mm と、そんなに少なくはありませんでしたが、冬を挟んで大変少なく、晩秋から初春にかけて多くの井戸水位は低下しています。
- ・下の図は 2019 年度の最高水位と最低水位を基に作成した等水位線です。測定時期の相違から厳密な等水位線ではないですが、概ね水位線の直角方向に流れていると考えて良く、西部地区では南西⇒北東、東南部では北向きと考えられます。(長谷川伶思さん-後述-の整理結果)



ちょこボラ

毎月の測定は、地域ごとに2人1組で毎月11～20日の都合の良い時に、自転車で廻って行っています。一度、地下水の見守りに参加してみるのはいかがでしょうか？

環境トピックス

・6月30日にFM ラジオ 854・くるめうの「くるくるチャンネル」の時間枠に会の代表が出演して、

この会のことを1時間近くお話しすることができました。その様子や用意した資料&感想が下記のサイトにアップされています。

[くるくるチャンネルラジオ版ご報告！\(再放送のお知らせ\) \(kurukuru-ch.com\)](http://kurukuru-ch.com)

- ・今年(2022年)秋には「いまだき、井戸のことー小平と東久留米、防災と地下水ー」と題してセミナー(市民自主企画講座)を開きます。10月22日(土)1:30PM～、東部地域センター(大門町2)。小平井戸の会の金子崇史さんと地下水など水の専門家の長谷川伶思さん(八千代エンジニアリング)から話を伺います。(写真；小平中央公園内の古井戸)

